

クローバー



暁中学校令和6年度 1年生
学年通信 第16号
令和6年5月29日 発行



非常食（備蓄食料）体験を行いました

5月28日（火）に、非常食体験を行いました。もし災害が起きた時、電気・ガス・水道が止まると食べるものが限られてきます。どんな食料があるのか、まずは調べ学習を行いました。調べていると多くの種類があることが分かりました。最近では、パンやフリーズドライ食品、温めなくても食べることができるカレーなどが開発され、様々な種類の備蓄食料があることが分かりました。その後、津島市に備蓄されている食料である、アルファ米「田舎ごはん」をお湯で調理し、試食をしました。給食の後で食べるアルファ米でしたが、多くの生徒が美味しそうに完食していました。



生徒の振り返り

- ・「非常食と言えば何がある？」と聞かれたら案外思いつかなかったけど、ネットで調べたらすごく面白い非常食がたくさんあってすごいなと思った。
- ・地震がきてもこんなに美味しいごはんを食べることができるのだと思った。非常食は賞味期限も長いし、美味しいし、最強だと思った。水だけで作ることができて、便利で簡単、洗い物もなくて、とてもよいと思った。
- ・アルファ米がイメージと全然違うということが分かって安心した。非常食がたくさんあれば、不安も減ると思った。
- ・保存食はシンプルで種類少なそうだなと思っていたけれど、色々な種類があって避難所での生活が過ごしやすくなるなと思った。
- ・災害の時、こんなに美味しいご飯を食べることができたら、心があたたかいだろうなと感じた。
- ・いつものご飯を簡単に食べることができて、安心して長持ちする、そんなアルファ米を作った人を尊敬します。誰にでも安心して食べて欲しいという思いが込められていると思った。